

掘削用機械を起因物とする転倒の死亡災害発生事例（1999-2020年）

発生年	発生月	時間	死傷災害発生事例	小業種コード	労働者規模
1999	1	11 ～ 12	道路新設工事現場で、側溝のふた4個をバックホーで吊り上げて左旋回したところ、バックホーが横転しその下敷きになった	30106	10 ～ 29
1999	1	10 ～ 11	ドラグ・ショベルで仮設資材の敷鉄板1枚をつり上げて、左側方へ旋回中にドラグ・ショベルが横転し、ドラグ・ショベルヘッドガードと地面との間に頭部をはさまれた。	30106	1～ 9
1999	2	11 ～ 12	マンション新築工事における造成中、進入路に仮置きされた敷鉄板をドラグショベルで吊り上げ左旋回したときに、ドラグショベルが転倒し、運転席が土留め杭に潰された。	30201	1～ 9
1999	4	13 ～ 14	側溝工事で、2トンダンプトラックからボックスカルバートをミニドラグショベルで吊り上げ左旋回したところ、ショベルが左方向に転倒したため、地面と運転席との間に挟まれた。	30110	10 ～ 29
1999	4	14 ～ 15	ドラグショベルで直径8cm、長さ4mの杉丸太45本を吊り上げ、工事用仮設道路上で旋回させたところ、ドラグショベルが運転席左側方向に転倒し、運転席天蓋支柱と地面との間に胸背部を挟まれた。	30108	10 ～ 29
1999	4	14 ～ 15	木造平屋家屋の解体作業で、ドラグショベルで廃材を集める作業を行っていたドラグショベルと共に転倒し、ショベルのヘッドガードと地面との間に挟まれた。	30109	10 ～ 29
1999	6	16 ～	橋台建設工事において、ミニドラグショベルで整地した法面を登坂中にショベルが後転し、その下敷きになった。	30199	30 ～

		17			49
1999	7	13 ～ 14	ドラグ・ショベルをバックで次の作業場所に移動中、幅2m, 高さ約80cmの盛り土を乗り越えるときに、ドラグ・ショベルが転倒し、運転席の扉が開いていたので外に放り出されて下敷きになり、扉枠と地面との間に頭部を挟まれた。	30110	10 ～ 29
1999	9	8 ～ 9	落石防止擁壁工事において、使用したドラグショベルを約1km先の工事現場に移動させるため、トレーラーの荷台にドラグショベルを積み込む作業中、ドラグショベルが転倒しその下敷きになった。	30106	30 ～ 49
1999	9	10 ～ 11	矢板8枚(約3.5t)をバックホーで吊りトラックに積もうとしたときに、路肩から転落しキャタピラの下に頭をはさまれた。	30107	10 ～ 29
1999	11	11 ～ 12	6. 3トンのドラグショベルを用いて傾斜角26度の場所においてあった木の枝の除去作業中、ドラグショベルが後方谷川へ転倒し、ドラグショベル運転席フレームと地面との間に挟まれた。	30199	10 ～ 29
1999	12	10 ～ 11	河床スロープの護岸ブロックの土台コンクリート打設作業で、コンクリートホッパー(容量0.5t、重量195kg)に生コン(約0.2t)を入れてバックホーで吊り下げて左旋回したところ、バックホーが横転し、バックホー車体と地面との間に挟まれた。	30107	10 ～ 29
2000	1	16 ～ 17	採石現場において、クローラー式のドラグショベルを後退させていたところ、片側クローラーが斜面上に乗り上げて横転し、運転席が立木に衝突して潰された。	30199	1～ 9
2000	3	16 ～ 17	ダンプの荷台からローラーをドラグショベルで吊って地上に降ろすためドラグショベルを左に旋回したとき、ドラグショベルが転倒し、運転手が運転席から投げ出されて、転倒してきたドラグショベルの運転席の左側のフレームと地面との間に挟まれた。	30106	10 ～ 29
2000	2	14	下水道管敷設現場の残土、ガラ置場で、貨物自動車にガラの積込作業を行うため残土上に停止していたドラグショベルを移動させたときに、ドラグ	30110	10 ～

		15	ショベルが転倒して運転席から放り出され、その下敷きとなった。		29
2000	9	15 ～ 16	農道整備工事における路面の整地作業において、仮置きしていたU字溝(重量・250Kg)を移動するため専用吊具を用いてドラグショベル(機体質量・2.02t)で吊り上げて旋回中に、ショベルが転倒し機体の下敷きとなった。	30106	30 ～ 49
2000	7	8 ～ 9	谷止め工施工現場において、床均し作業のためにドラグショベル(機体質量2.865t)を上流側の地山から床掘り面まで降すためドラグショベル(機体質量19t)で吊って前進したところ左前方に横転し、運転席と岩石との間に挟まれた。	30108	1～ 9
2000	9	16 ～ 17	工場建設予定地の地質にボーリング機械を搬入するための仮設路を造成する作業中に転倒したバックホー(機体重量2.8t)とそのキャビンの柱との間に胸部を挟まれた。	30109	10 ～ 29
2000	4	16 ～ 17	宅地造成工事において地山を掘削した土をクローラ式ドラグショベルで移動(旋回)中にドラグショベルが転倒し重機から放り出された。	30109	1～ 9
2000	5	15 ～ 16	山の斜面に水道パイプを埋め込む作業中、小型ドラグショベルがバランスを崩したので約2m下の山林に飛び降りたが、その上にドラグショベルが落下しその下敷きになった。	30110	10 ～ 29
2001	1	13 ～ 14	送水管布設工事において、現場から出た土を一旦仮置きしていたのを別の場所へ搬出するためバックホーを運転していたところ、横転して頭部をはさまれた。	30110	10 ～ 29
2001	2	17 ～ 18	個人住宅の改築工事で、浄化槽を埋めるために使用したドラグショベルをトラックの荷台に積み込んでいるときにドラグショベルが転倒し、下敷きとなった。	30209	10 ～ 29
2001	4	15 ～ 16	水道管の修繕作業を終え、使用したドラグショベルをトラックの荷台に載せるため道板上を登っていたところ、ドラグショベルが後ろ向きに転落し、その下敷きになった。	30110	10 ～ 29
		8	開口面をふさぐ敷鉄板(質量約693kg)をドラグ・ショベル(機体質量2.5t)バ		10

2001	4	～	9	ケット容量0.15立方m)で吊り上げ回転したところ、機体が横転したためコンクリート壁とヘッドガードとの間に頭を挟まれた。	30201	～	29
2001	5	13	～	14	高圧線の鉄塔工事に部材を運ぶための作業道を開設するため、民有地の竹林をドラグショベル(機体質量1.5t)で掘削していたところ、ドラグショベルが後方に転倒したため現場に自生している竹とドラグショベルとの間に挟まれた。	30199	10 ～ 29
2001	5	16	～	17	道路改良工事において、測定の障害となるドラッグショベル(機体質量2360kg)を移動させたときに運転を誤りドラッグショベルが転倒して運転席より投げ出され、転倒したドラッグショベルのヘッドカードと地面との間に胸部を挟まれた。	30106	30 ～ 49
2001	9	15	～	16	トンネル工事にて、ずりの仮置場からずりをダンプに積み込むため、バックホーで掘削していたところ、バックホーの足元が崩れて横転し下敷になった。	30102	10 ～ 29
2001	9	15	～	16	堰堤築造工事の埋め戻し作業において、ドラグショベル(機体重量2.6t)で後進しながら左回転をしたところ、傾斜地であったためショベルが転倒し、地上に投げ出されてヘッドガードの下敷きになった。	30108	10 ～ 29
2001	11	13	～	14	小学校のプール建設工事において、整地運搬車の荷台からU字溝8本(総質量652kg)をパワーショベルを使用して吊上げ、右回転したときにパワーショベルが転倒し、オペレーターが投げ出されて約9m下の道路に墜落した。	30209	1～ 9
2002	1	10	～	11	道路新設工事における水路用ボックスカルバートの設置作業で掘削した盛土の整形のため、盛土の最上部までドラグショベルを進行させたときに、ドラグショベルが盛土を乗り越え反対側で転倒し、ドラグショベルの下敷きになった。	30106	1～ 9
2002	2	13	～	14	工事現場で使用した鉄板を別の工事現場へ運ぶため、ドラグショベルのバケット背部のフックにワイヤーロープを掛けて吊り上げ左方向に回転させたときドラグショベルが左側に横倒しになり、運転していた者がドラグショベルの下敷きになった。	30106	1～ 9

2002	8	7 ～ 8	玉掛ワイヤーロープが掛けられた丸太（直径15cm、長さ1.8m）約50本を移動させるため、ドラグショベルのバケットのフックを使用して丸太を吊上げた状態で谷側に旋回したところ、ドラグショベルが横転しキャビンに頭部を挟まれた。	30201	1～ 9
2002	10	15 ～ 16	建売住宅建設現場工事において、基礎コンクリートの配筋に使用する鉄筋の束（約220本：600kg）をトラックの荷台からドラグショベルで吊り降ろす作業中に吊荷が振れたため、振れを止めようと吊荷に近寄ったときドラグショベルが転倒しその下敷きになった。	30202	1～ 9
2002	10	8 ～ 9	ドラグショベル（機体質量12t）のバケットに取り付けられたフックにワイヤーロープを掛けてコンプレッサーを吊り上げ移動しようとしたときに、ショベルが転倒して運転席から投げ出され頭部を挟まれた。	30106	10 ～ 29
2002	10	13 ～ 14	個人住宅の解体工事で出た廃材を約1km離れた休耕地に2tダンプトラックで運搬し、バックホーで掘削した穴に投棄する作業中に、バックホーが休耕地の端の斜面から2.7m下のあぜ道に転落し下敷きになった。	170209	1～ 9
2003	2	0 ～ 1	上下水道工事の仮置場において、ダンプに積み込む残土をドラグ・ショベルで寄せ集めていたところ、盛土（高さ約90cm）の斜面でドラグ・ショベルが転倒し、運転席から投げ出されてドラグ・ショベルの下敷きになった。	30110	50 ～ 99
2003	2	14 ～ 15	道路工事に使用する土止め用の大型土のう（約1t）をドラグ・ショベルを用いて製作する作業中、製作し終わった土のうをドラグ・ショベルでつり上げ移動させたところ、ドラグ・ショベルが横転しかけたので運転していた被災者が運転席の外に逃げ出したが逃げきれず、横転してきたドラグ・ショベルの下敷きとなった。	30106	10 ～ 29
2003	3	8 ～ 9	工事現場にドラグ・ショベルを搬入するため、倉庫で4tダンプにアルミ製の道板を掛け積みをしていたが、真っ直ぐに積み込みが出来ないので道板上で少し右に修正したときに、道板が滑り落ちたためドラグ・ショベルとともに転落した。	30199	10 ～ 29
		8	治山工事において、勾配約30度、レキ岩混じりの土砂からなる傾斜地を機体質量2.7tのドラグ・ショベルで下る途中で、車体が一回転して傾斜地下方で作		10

2003	5	9	業していた機体質量20tのドラグ・ショベルの右前方のクローラに衝突し、転倒の際にオペレーターが運転していたドラグ・ショベルの下敷きになった。	30106	29
2003	5	18 19	植木の植え替え作業をドラグ・ショベルで行い、帰社するためドラグ・ショベルを2tトラックに載せるため、トラックを道路に止めて道路から約65cm高い隣接の空地からトラックの荷台に載せようとしたときに、ドラグ・ショベルが転倒しその下敷きになった。	30110	1 9
2003	6	15 16	山間部の山止めに用いた型枠部材部をドラグ・ショベルでつり上げて25度の斜面を下に向けて移動中に、バランスを崩して約10m下に転落し、運転席と地面との間にはさまれた。	30108	100 299
2003	9	8 9	事業場敷地内で、ドラグ・ショベル（機体質量0.98t）をトラックの荷台に乗せようとしていたときに、バランスを崩して機械とともに転落した。	80209	10 29
2004	9	16 17	マンション新築工事において、透水枘設置工事の終了後、敷鉄板により枘上部の養生をするため、被災者はドラッグショベルを運転して敷鉄板をつり上げたところ、運転席の左側方向にドラッグショベルが転倒し、ドラグ・ショベルのヘッドガードと敷鉄板の間に挟まれた。	30201	10 29
2004	10	17 18	ドラグ・ショベルを用いて作業をしていた被災者が、作業を終了しようとして、直前まで作業をしていた積み上げられた残土の上（傾斜角約18度）からアームを持ち上げた状態のまま下ろうとした際、バランスを崩したドラグ・ショベルが傾き、被災者が前方へ放り出され、その上から転倒してきたドラグ・ショベルのヘッドガード部支柱と地面に挟まれた。	30199	10 29
2004	7	18 19	積載荷重4tのダンプトラックの荷台（床面から荷台までの高さ101cm）に機体重量2.5tのドラグ・ショベルを自走により荷積み作業中、被災者が掛けた2枚の道板（2.9m×50cm）の内の1枚が外れ、ドラグ・ショベルが横転し、運転していた被災者が投げ出され、ドラグ・ショベルと横に置いてあった発電機に挟まれた。	170209	1 9
		16	自社の資材置場から水路に土砂が流れることを防止するため、敷地と水路の		

2004	5	～ 17	境界にコンクリートブロックを設置する作業において、ドラグ・ショベル（機体重量5.3t）を用いてブロック（重量約1.5t）1個をつり上げ、左に旋回中、ドラグ・ショベルが転倒し、その下敷きになった。	30199	1～ 9
2005	1	～ 16	コンクリートの堤防の解体工事において、ドラグ・ショベルが横転し、運転席が潰れた。	30107	1～ 9
2006	3	～ 12	宅地造成工事現場において、土工事を行っていた被災者が、ドラグ・ショベル（機体重量2トン）を当該現場から別の場所にダンプに載せて移動させるため、ドラグ・ショベルを運転し、当該現場の斜面（約30度）を登っていたところ、ドラグ・ショベルが転倒し、回転した。この時、被災者は運転席から投げ出され、ドラグ・ショベルの下敷きになった。	30109	1～ 9
2006	1	～ 17	県道の拡幅及び歩道の新設工事で、被災者は削り取ったアスファルト片をドラグ・ショベルで寄せ集め、ダンプカーに積み込む作業をしていた。その日の最後の積み込みが終わり、ダンプカーが現場を離れたので当日の作業を終了すべく残塊を寄せ集めていたところ、アスファルト片に乗り上げ、バランスを崩してドラグ・ショベルが転倒し、運転席に挟まれた。	30106	10 ～ 29
2006	8	～ 10	京都府内の国道道路新設改良工事現場において、被災労働者が運転していたドラグ・ショベルが法面から転落し、ドラグ・ショベルのブームで強打された。	30106	1～ 9
2006	12	～ 12	ドラグ・ショベルのバケットのフックで基礎ブロック（約500kg）をつり上げて運搬中、右旋回したところ、ドラグ・ショベルが転倒し、運転者が運転席から約4.4Mの道路下に投げ出され、倒れた被災者に約2Mの鉄筋が落ち、被災した。	30106	1～ 9
2007	2	～ 8	事業場の資材置場において、土木工事現場で使用する締固め機をドラグ・ショベルを用いてつり上げ、トラックに積載する作業中、ドラグ・ショベルが転倒し、運転席から投げ出された被災者が、ドラグ・ショベルの下敷きになった。	30106	1～ 9
			自動車道高架橋（下部工）工事現場において、被災者はドラグ・ショベルで		

2007	4	10 ～ 11	擁壁設置予定箇所の仮盛土をダンプトラックに積み込む作業をしていた。何度かの積み込みを終えた後、ドラグ・ショベルが横転し、投げ出された被災者が当該ドラグ・ショベルの下敷きとなった。	30105	100 ～ 299
2008	12	11 ～ 12	上水道工事の準備作業として残土捨て場で積載形トラッククレーン荷台に積んできたドラグ・ショベルを降ろす作業中に積載形トラッククレーンのアウトリガーを伸ばして荷台を15度に傾斜させてドラグ・ショベルを進行させて荷台から降ろそうとしたところ、ドラグ・ショベルが荷台上で滑走して荷台から外れたはずみでドラグ・ショベルが転倒し、運転していた被災者が振り落とされ、倒れてきたドラグ・ショベルの下敷きとなった。	30309	1～ 9
2008	5	12 ～ 13	露天風呂の建設のため、海岸から岩石をドラグ・ショベル（機体重量2.48t）で運搬中、ドラグ・ショベルが転倒してヘッドガードと地面の間にはさまれた。	140101	30 ～ 49
2009	4	10 ～ 11	山林内の整地のために2tトラックから碎石を降ろし、掘削用の車両系建設機械の排土板を使って敷き詰める作業を行っていた被災者が、転倒した当該車両系建設機械のアーム部分にはさまれた。	30199	1～ 9
2010	3	9 ～ 10	油圧ショベルのショベルにワイヤーロープを掛け重さ600kgの手押しローラーをトラック荷台より降ろそうとしたところ（用途外）、油圧ショベルが転倒し、被災者が油圧ショベルの屋根部分の下敷きになったもの。	30109	1～ 9
2010	11	17 ～ 18	宅地造成現場ヘリスしたドラグショベルを引き取りに行き、運搬用トラックに積み込むためドラグショベルのバケットを地面に突いてアームで押しながら後進させて登っていたところ、横転し、キャビンに挟まれ、翌日に死亡したもの。	80409	1～ 9
2010	12	8 ～ 9	学校校舎解体工事において、被災者が機体重量15tのドラグショベルを運転して高さ約3m、角度20度のコンクリートガラの斜面を登っていたところ、ドラグショベルのアームを上げて折り曲げた状態であったため、斜面を登るにつれ重心が後方へ移動し、当該ドラグショベルが後方へ転倒した。この際、背中への損傷し、脳内疾病を併発して3日後に死亡した。被災者は車両	30201	10 ～ 29



			系建設機械について3 t未満の特別教育は受講していたが、技能講習は修了していなかった。		
2011	2	18 ～ 19	橋梁の撤去工事に伴う工事用道路の造成作業に従事していた被災者は、当日の道路造成が終了後、ドラグショベルを運転操作し河川の中州の工事用道路～終点側の除雪等を行っていたが、後進したところ覆帯が雪底に乗ったためドラグショベルが転倒、水中に運転席が埋没したため関係者が発見されるまでの間に低体温症となり、病院へ搬送された後に死亡が確認されたもの。	30105	10 ～ 29
2011	7	13 ～ 14	豪雨災害関連復旧工事において、崩れた土砂をドラグ・ショベルにて掘削しながら整形作業を行っていた。災害発生時、上部から掘削した土砂が下部へ溜まっており、その溜まった箇所においてドラグ・ショベルで周りを掘削していたところ、その溜まった箇所の一部が崩れ、ドラグ・ショベルがバランスを崩し、咄嗟に運転席から飛び降りた運転手のところにドラグ・ショベルが転倒し、挟まれ死亡した。	30199	1～ 9
2012	8	10 ～ 11	掘削作業中に、ドラグショベルのオペレータが転倒した機械の下敷きとなり死亡した。	30105	100 ～ 299
2012	7	14 ～ 15	住宅の浄化槽設備工事において、ドラグ・ショベル（機体重量3 t未満）をダンプトラック（最大積載量3,750kg）に積み込む作業中、道板を使用せずにドラグ・ショベルのバケットをダンプの荷台（高さ1.17m）に接地し、アームを支えにしてクローラの前部を浮かせて荷台に斜めに乗せた後、上部回転体を右回転させたところ、ドラグ・ショベルがバランスを崩して後方に倒れ、ドラグショベルを運転していた被災者が下敷きになった。	30203	10 ～ 29
2012	3	16 ～ 17	被災者は木製パレットの上に置いたコンクリートを石垣に打設するため、ドラグ・ショベルを運転し、バケットのフックにワイヤーを掛けて木製パレットを吊り上げていたところ、ドラグ・ショベルが転倒し、被災者が運転席から投げ出され、ドラグ・ショベルの下敷きとなった。	30107	1～ 9
		12	ワイヤー製の網に石4つ（直径50 cm～80 cm程度）を入れ、ドラグショベルを用いて運搬していたところ、幅約2 mの急斜面に差し掛かった		1～

2013	9	～ 13	際、路肩が崩れたためドラグショベルが転倒し、運転者が当該ドラグショベルの下敷きになった。	30199	9
2013	9	～ 16 17	木造家屋の基礎工事において、ドラグ・ショベルを用いて掘削作業を行う被災者は、掘削作業により発生した最大勾配約30度、高さ約90センチに積まれた残土の頂上まで、上部旋回体を反時計回りに90度回転させた状態で後進させたところ、当該ドラグ・ショベルがバランスを崩し転倒し、被災者が地面との間にはさまれた。	30202	10 ～ 29
2014	12	～ 10 11	河川内を走行中、ドラグショベルが深みにはまり、横転。被災者は運転席内に閉じ込められ、死亡した。	30107	10 ～ 29
2014	11	～ 13 14	斜路をドラグ・ショベルで移動していた際、転倒。ブームの下敷きになった。	30105	50 ～ 99
2014	4	～ 16 17	パワーショベルで未整地の場所を走行していたところ、パワーショベルが転倒し、被災者が運転席から投げ出された。	30109	1～ 9
2015	11	～ 14 15	ドラグショベルにより減圧槽基礎の床掘作業中、勾配約20度、高低差最大約50センチの傾斜地で進行方向（ドラグショベルの後方向き）に転倒し、ドラグショベルのキャビンの支柱と地面に、被災者の右肩から胸部あたりを挟まれて死亡したもの。	30110	10 ～ 29
2015	9	～ 0 1	給水管敷設工事の準備作業として、工事場所脇の空地に敷鉄板を敷設するため、最大つり上げ荷重0.81tの移動式クレーン機能付きドラグショベル（クレーン機能付きバックホー）で荷重約450kgの敷鉄板を吊り上げ旋回していたところ、ドラグショベルが転倒し、被災者は運転席から投げ出され、運転席のヘッドガードと地面に頭をはさまれた。	30110	1～ 9
2016	11	～ 10	ドラグ・ショベルで除染廃棄物の仮置き場の整地作業後、ドラグ・ショベルを次の作業場所へ移動するため、高低差70cmの傾斜を下る途中で転倒	30309	10 ～

		11	し、運転室から投げ出され、ヘッドガードの下敷きとなった。		29
2016	8	9 ～ 10	道路工事により出た仮置きのアスファルト殻を、被災者がドラグショベルを用いてトラックに積み込み作業中、ドラグショベルがバランスを崩して転倒し、キャビンから投げ出された被災者が転倒した車体の下敷きになった。	30106	10 ～ 29
2018	10	10 ～ 11	豪雨災害復旧工事現場において、被災者が法面の幅員1.5mこう配約20度のコンクリート舗装の直線路面上においてドラグショベル（機体重量約0.5t）を運転し、路面に隣接する法面の表面掘削を行っていたところ、路面下り面側に約5m転落し、当該機械と路面との間に胸部をはさまれたもの。病院で治療を受けていたが、後日死亡した。	30106	1～ 9
2019	5	16 ～ 18	資材置場に仮置きしていた工事が出た残土を移動するよう現場代理人から指示された被災者が本件工事現場の作業終了後に現場で使用していたドラグ・ショベルをトラックに載せて資材置場に向かい、資材置場において、被災者がドラグ・ショベルを運転していたところ、高さ82cmの残土を乗り越えたときにドラグ・ショベルが横転し、ヘッドガードに頭部を挟まれて死亡した。	30202	1～ 9
2019	3	10 ～ 12	解体工事のためドラグショベルを運転して敷地内を移動していたところ、ドラグショベルが運転席側からため池に横転して水没し、溺死したもの。	60101	1～ 9
2020	4	8 ～ 10	ドラッグストア建設地造成工事現場において、被災者は、基礎工事等に係る掘削を行うため、ドラグショベルを運転し傾斜角約30度の地山スロープを下ろうとしたところ、当該ドラグショベルがバランスを崩し前方へ転倒、被災者が運転席から投げ出され、当該ドラグショベルのアームと地山の間に頭部が挟まれ死亡したもの。	30109	1～ 9
2020	1	12 ～ 14	被災者は、バックホーをトラック荷台に乗せて災害発生場所に移送した。そして被災者は、バックホーを操作してトラック荷台から地上に降ろそうとしたところ、荷台に掛けた2本の道板のうちの1本がはずれてバックホーが横転したため運転席から投げ出され、付近にあった立木とバックホーに挟まれたもの。	30199	10 ～ 29

---

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202207\\_01.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202207_01.html)